

業者向け 6/19(木) 20(金) 陶器メーカー・山口陶器が自社 5 ブランドを一堂  
一般向け 6/21(土) 22(日) 「かもしか道具店 これから展」開催のお知らせ



製造から販売までを一貫して行う三重県・菰野町の陶器メーカー、有限会社山口陶器（代表取締役：山口典宏）は、同社の5つのブランドを集めた展示販売会「かもしか道具店 これから展」を、東京・神楽坂の〈AKOMEYA TOKYO in la kagū〉にて開催します。

地場産業

伝統工芸

展示会

出展するのは、「かもしか道具店」「かもしか花弁店」「かもしか食器店」「茶時間」「クラフト石川」の5ブランド。それぞれの世界観を生かしながら、山口陶器が提案する“これから”の暮らしをかたちにした製品が並びます。会期は、2025年6月19日（木）・20日（金）が業者向け内覧日、21日（土）・22日（日）が一般販売日となっており、バイヤーやショップ関係者はもちろん、陶器や暮らしの道具に興味のある一般の方にもご来場いただけます。

製造から企画・販売まで一貫 メーカー主導の“これから”を見せる展示会

山口陶器は、原材料の選定から製品企画、販売までをすべて自社で行う、陶器業界でも珍しいスタイルのメーカーです。大量生産や分業化が主流な今、土に向き合い、人と向き合いながら、丁寧なもののづくりを続けています。今回の展示会は、商社や問屋を通さず、メーカー自らが主導するかたちで開催。来場者との直接の対話を通じて、山口陶器の“これから”の取り組みをご紹介します。

「東海湖」の土とともに産地の歴史と未来をつなぐ試み

東海地方にはかつて「東海湖」と呼ばれる大きな湖があり、その湖底に育まれた良質な粘土は、美濃・瀬戸・常滑・四日市ばんこなど、東海一帯の陶器産地の礎となってきました。

山口陶器は、こうした歴史的背景に光をあてながら、産地を越えたつながりや協働のあり方を模索。展示会では、素材や技法、産地との関係性などにも触れながら、土とともに未来へと歩む“ものづくりの姿勢”を伝えていきます。

開催概要



かもしか道具店「これから展」― 山口陶器 展示販売会

【業者内覧日】2025年6月19日（木）・20日（金）11:00～19:00

【一般販売日】2025年6月21日（土）11:00～19:00 / 22日（日）11:00～15:00

【会場】AKOMEYA TOKYO in la kagū（〒162-0805 東京都新宿区矢来町 67）

【主催】有限会社山口陶器（三重県三重郡菰野町川北 2834-2）

【展示会お問い合わせ】TEL：059-327-6555 / Mail：kamoshika@kamoshika-douguten.jp



【来場予約フォーム】

※業者向け内覧日は、事前予約をいただいた方にノベルティをご用意しています（当日参加も可）。



有限会社山口陶器

1973年萬古焼の産地三重県菰野町に開窯。2014年自社ブランド「かもしか道具店」をスタート。「新しい地場産業の形をつくる」をミッションに掲げ、地域の交流拠点の設立や地場産業を育てるコミュニティ基盤の構築、窯業産地の未来を見据えた活動など、業界を越えた新たな取り組みに尽力する。